

「文化薫る思いやりのまち 名東区」

名東区制20周年記念誌

名東区区制20周年記念事業実行委員会

名東区の木・花

名東区開設15周年を記念して、区民の方々に「区の木」・「区の花」を募集し、その結果、応募の一番多かった「ケヤキ」を区の木、「ナデシコ」を区の花と決定しました。



『ケヤキ』

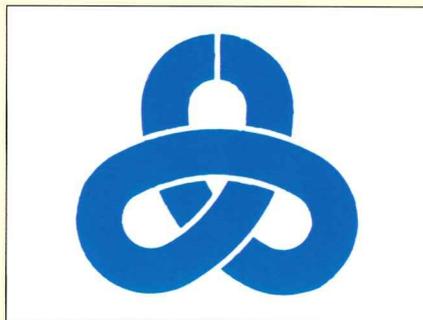
- ニレ科の落葉高木。高さ20～25mにもなり、中には高さ50mに達する巨木もあります。
- 4月～5月ごろ新葉とともに葉のつけ根に淡緑黄色の小花をつけます。
- 雄花は新枝の下部にかたまってつき、雌花は、新枝の上部の葉のつけ根に1個つきます。
- 樹皮は褐灰色で、老木では大きな鱗片となつてはげ、小枝は細い。
- 冬期は、樹形がまるでホウキを逆に立てたような形となります。



『ナデシコ』

- ナデシコ科に属し、1・2・多年草のものがあります。
- 春から秋にかけて咲く花は、明るい色彩で花色も豊富です。
- カワラナデシコは古くから秋の七草の一つとして数えられています。
- 観賞用として栽培され、改良種も多く区内の花壇や庭先でもよく見かけます。

名東区のシンボルマーク



このマークは、区制施行5周年を記念して区民から、募集した作品から、第一席の入選作を採用したものです。

めいとうの『め』をデザインし、人の和と名古屋の東玄関としての名古屋インターチェンジのイメージを盛り込んだものです。

東名阪自動車道 上社ジャンクション



中日新聞社提供

昭和52年頃の名東区

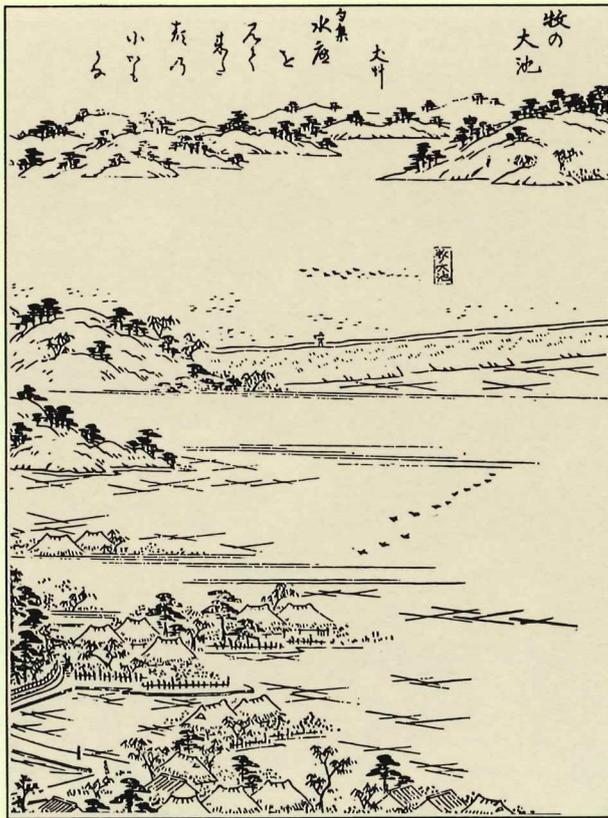


昭和30年頃の名東区

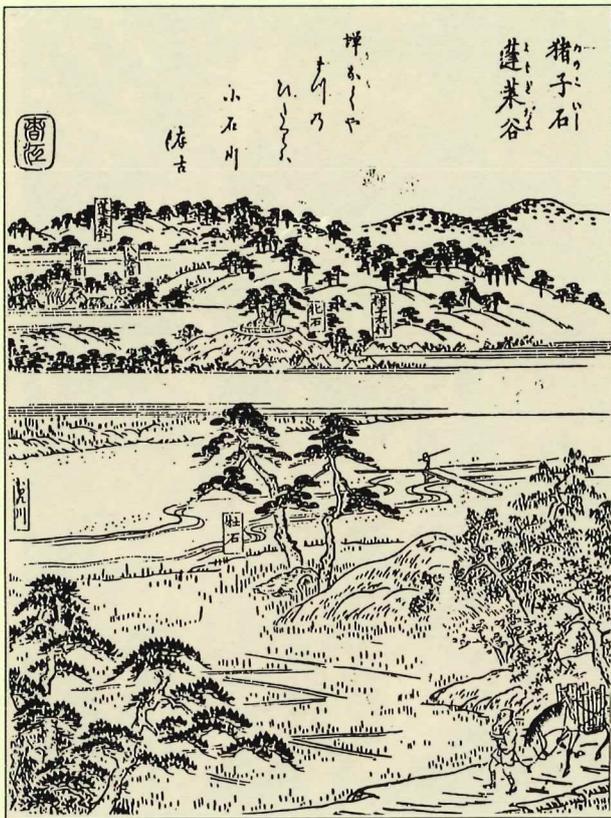


尾張名所図会

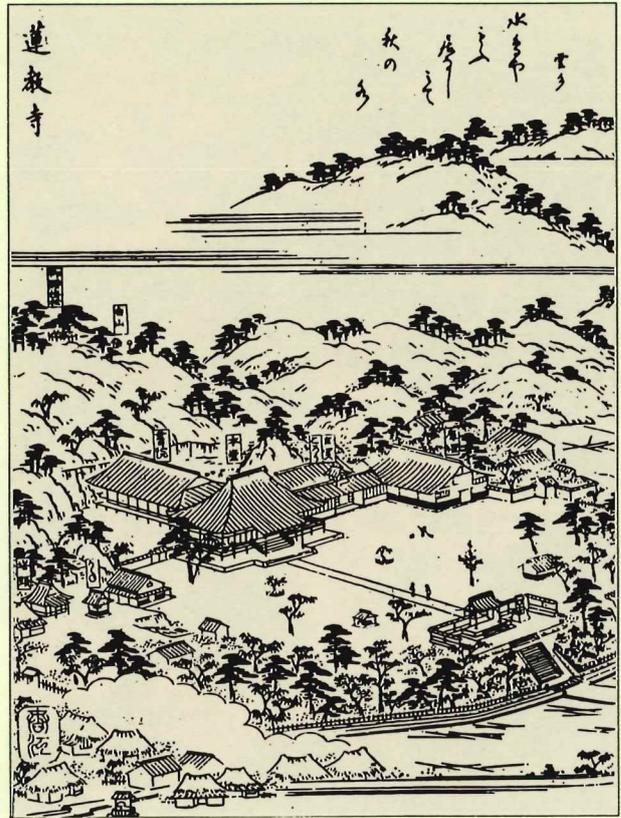
▽牧の大池



猪子石・蓬萊谷▽



蓮教寺▽



現存する最古の柴田勝家公肖像画



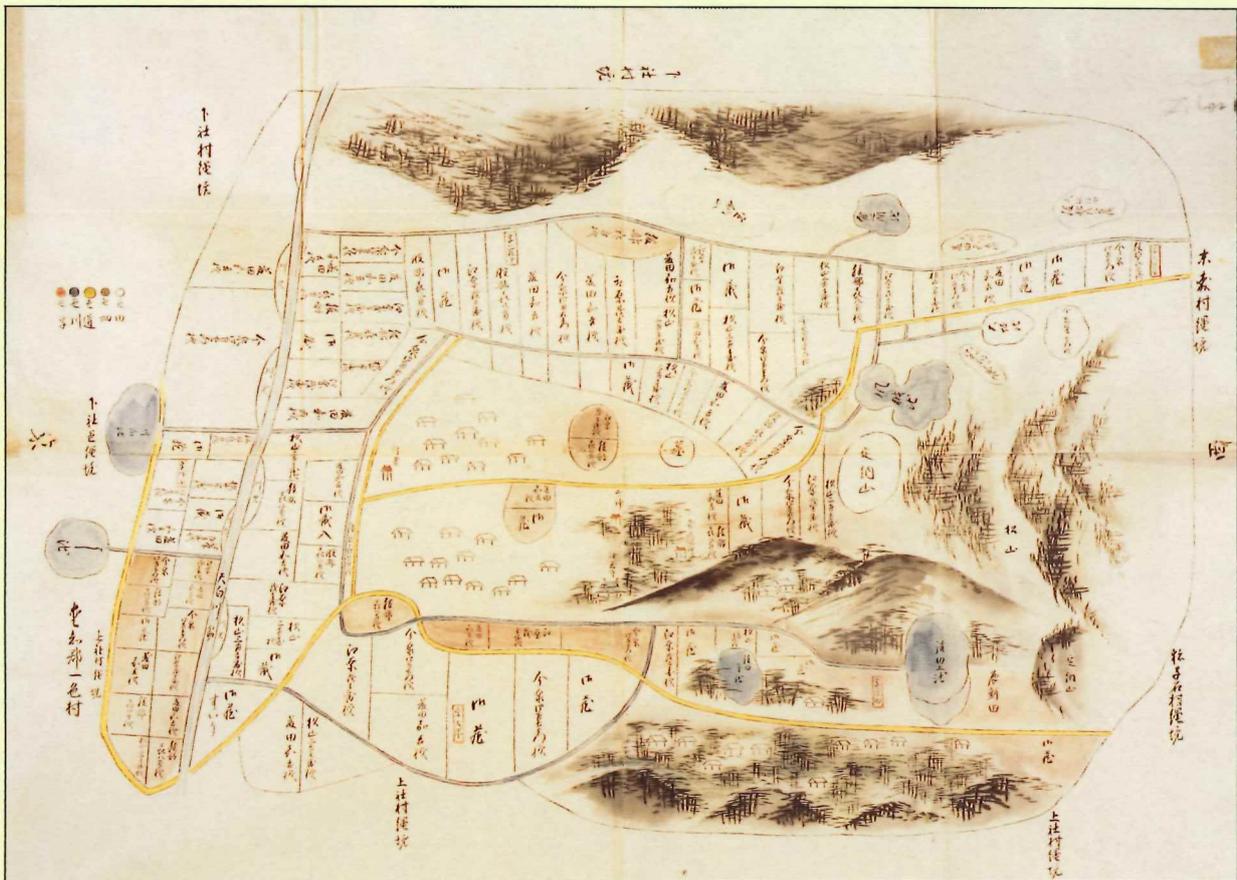
福井市立郷土歴史博物館蔵（千葉市在住の子孫 柴田勝次郎氏所有）

尾張国町村絵図 愛知郡 上社村



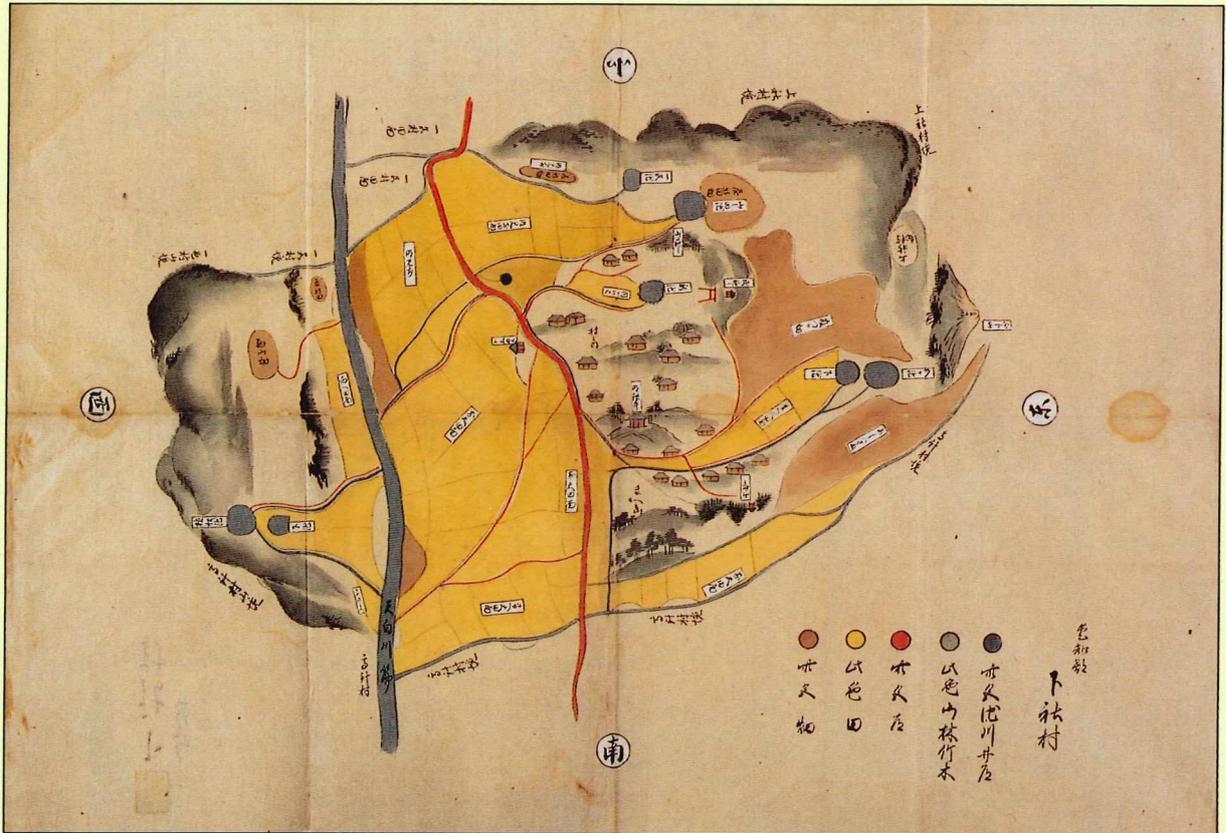
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 一色村



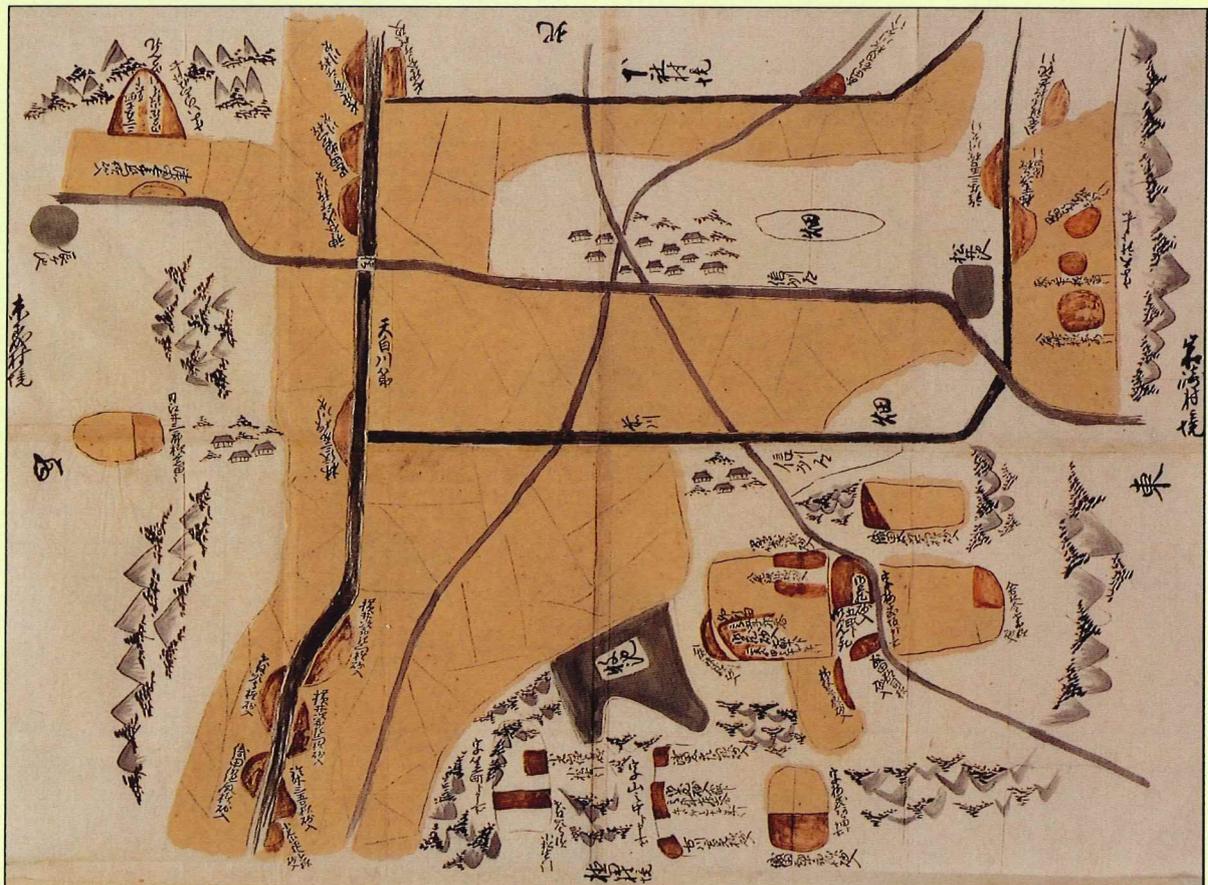
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 下社村



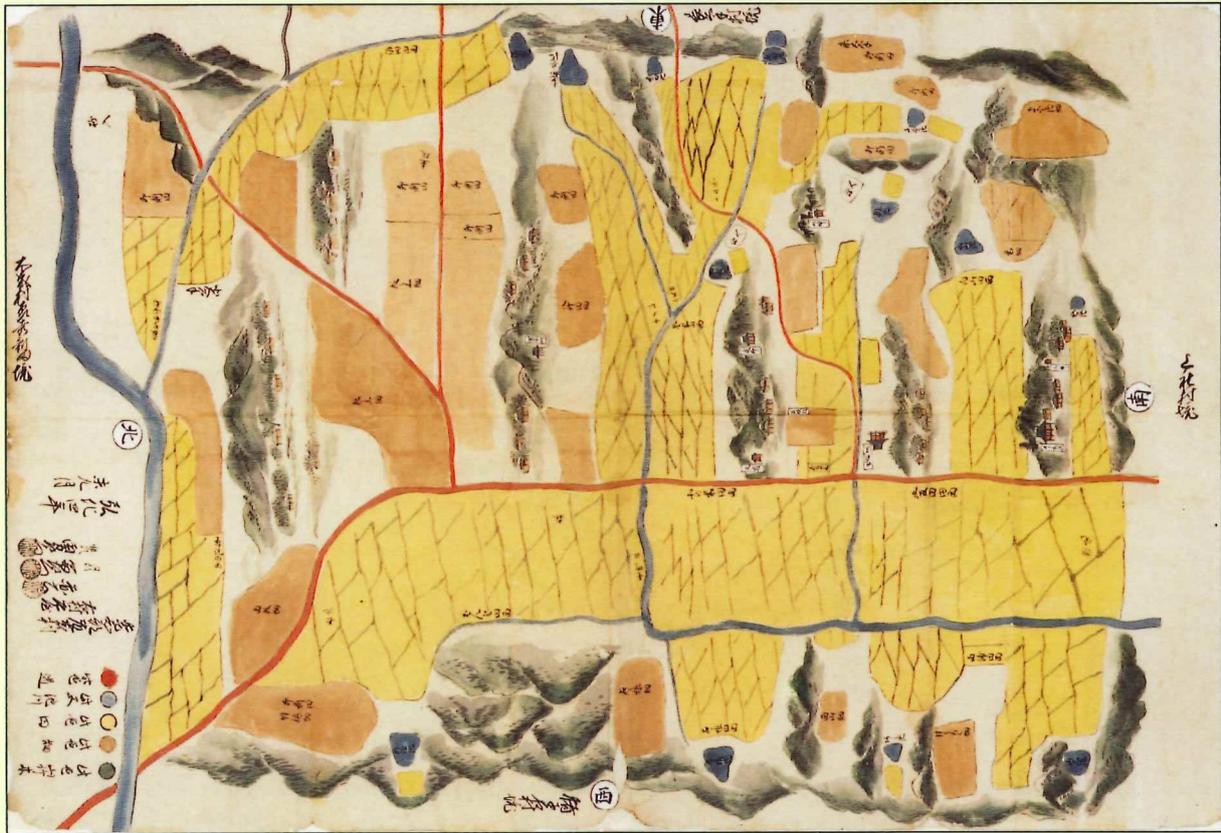
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 高針村



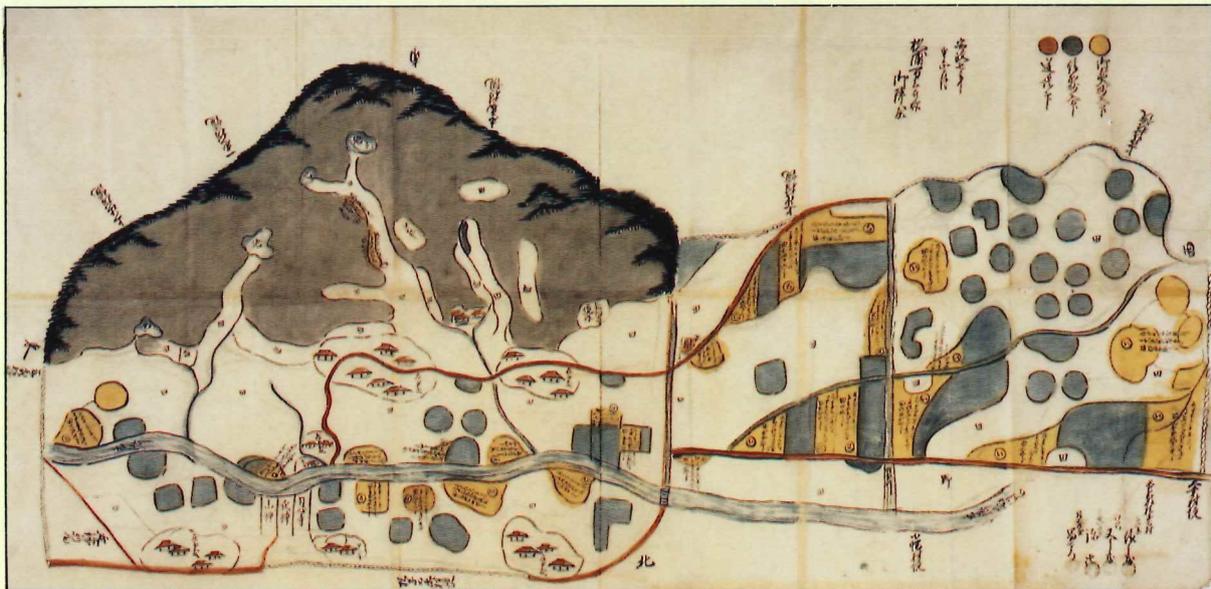
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 藤森村



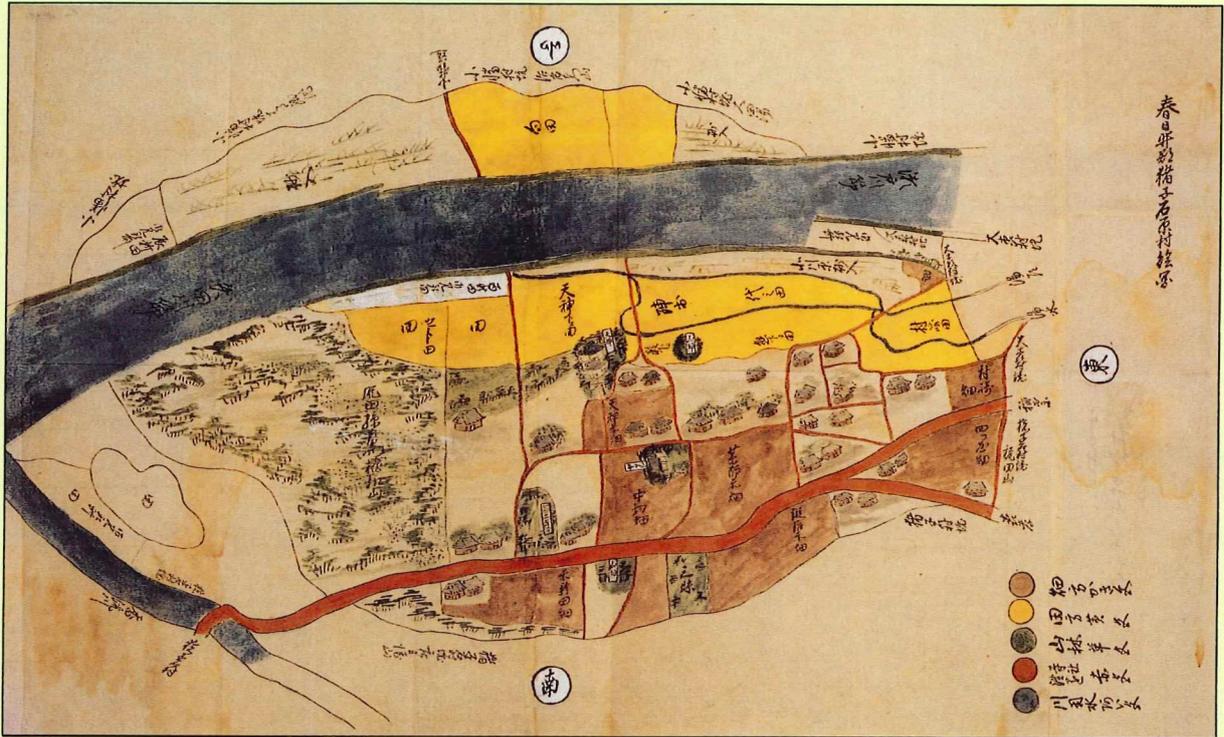
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 猪子石村



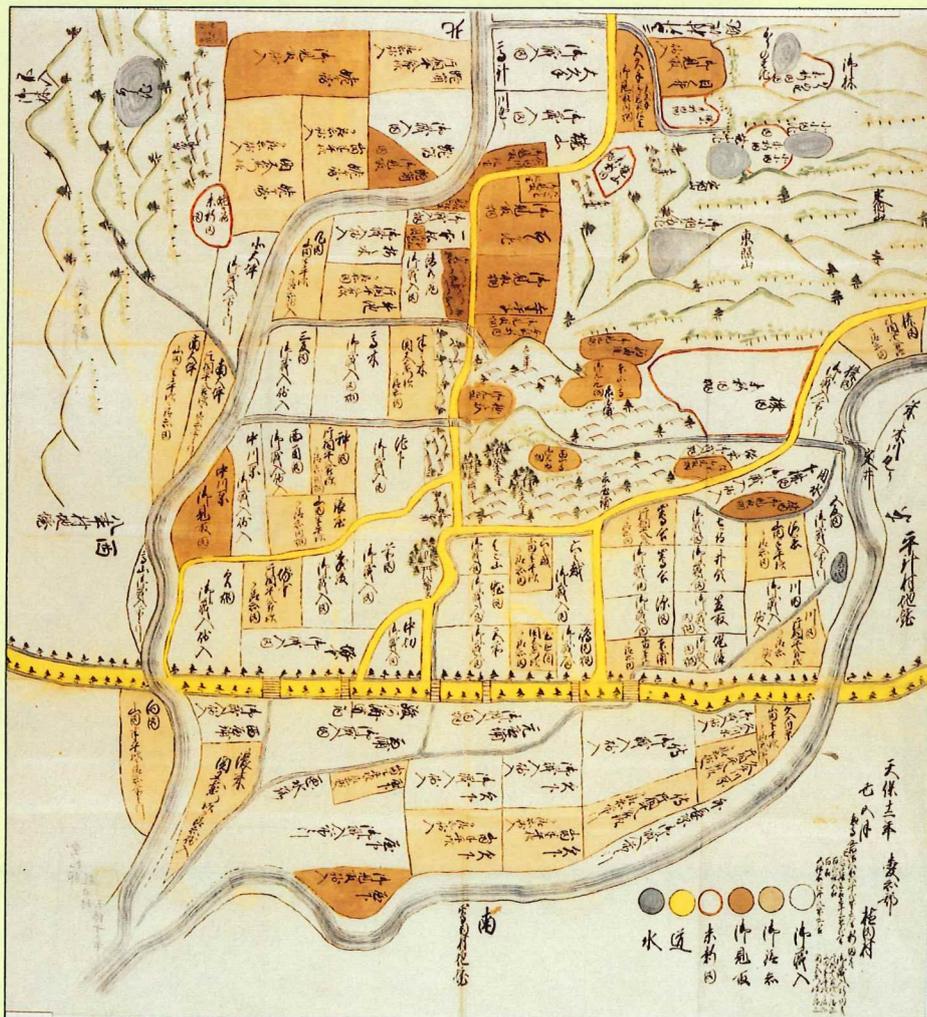
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 東春日井郡 猪子石原村



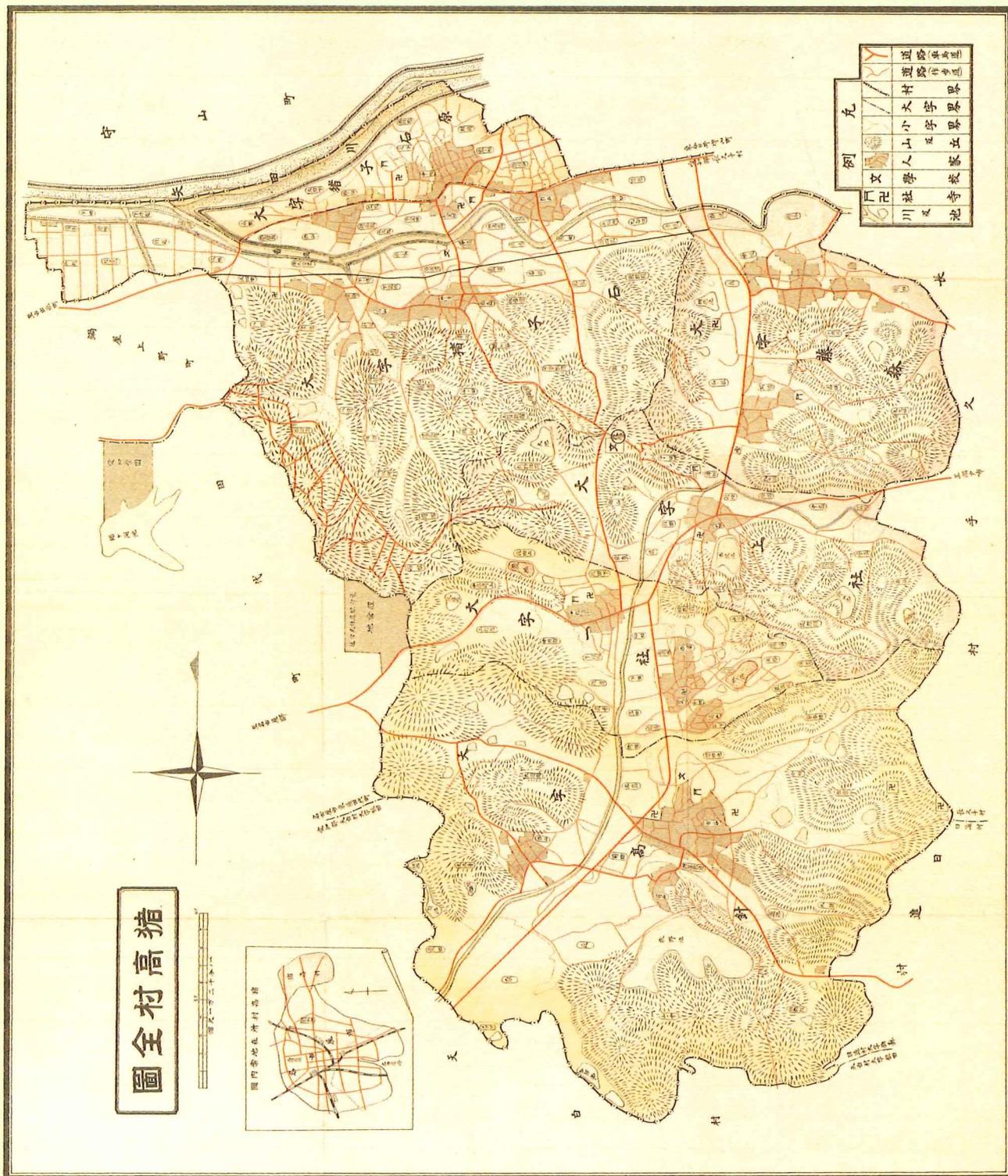
徳川林政史研究所蔵

尾張国町村絵図 愛知郡 植田村



徳川林政史研究所蔵

猪高村全图(昭和30年頃)





発刊のごあいさつ

名東区区制20周年記念事業実行委員会

会 長 柴田 正司

名東区開設20周年を迎えられ至極大慶に存じ上げ、心よりお喜び申し上げます。

往くものは斯くの如きか、昼夜をおかず。人はそこに生を営み諸行ここに発します。かくして未来はためらいつつ近づき、現在は矢のように速く飛び去り過去20年の成果は累次重ねられ現実の実績となって輝いています。

かつて、5周年、10周年には区政進展を回顧し、発展する区勢に合わせ「テーマ」を掲げ目標を設定してまいりましたが、今や20周年を迎え区政は充実、近代都市として生活空間は整備され、私たち区民はその恩恵に浴し、区民ニーズに適合した区政が普遍し、感謝の念と共に感動を覚えます。

この感動を基調として、来たるべき21世紀の名東区に地域文化を興隆させ、更に人間性豊かな思いやりのある人間関係の習性化された、温かい福祉の意思に満ち溢れたまちの出現を期するものです。

このような願いから、私たち名東区区制20周年記念事業実行委員会は、「文化薫る思いやりのまち」をテーマに本誌の発刊をはじめ各種の文化事業を計画いたしました。区民のみなさま、この20周年記念事業を契機に、国際社会の潮流に遅れをとらないように、来たるべき21世紀に名東区に文化の香薫る社会をつくりましょう。

最後になりましたが、この記念誌の発刊にあたりまして、ご協力いただきました方々ならびに区制20周年記念事業実行委員会の各位に対しまして、深く感謝の意を表しますとともに、名東区の更なる発展を祈念申し上げます、私のごあいさつといたします。



発刊を祝して

名古屋市長 西尾 武喜

名東区が誕生して20周年を迎え、これを記念して名東区制20周年記念事業実行委員会が中心となられ、「名東区制20周年記念誌～文化薫るおもいやりのまち 名東区」を発刊されますことを、区民の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

さて、21世紀が間近に迫る中、社会は今、大きな転換期を迎えており、人々の価値観も、ゆとりやうるおいなど、生活の質の充実を求める方向へと変化しつつあります。名古屋市といたしましても、こうした社会経済状況の変化に対応しながら、「やさしさ・ときめき・21」をキーワードに、「住みたくなるまち名古屋」の実現にむけて多様な施策に取り組んでいるところでございます。

とりわけ名東区は、天白区と並んで市内で一番若く活力ある区でございまして、一般国道302号線、東名阪自動車道が開通し、文化小劇場やスポーツセンターが着工の運びとなるなど、21世紀への基盤づくり、魅力づくりが着々と進んでおります。

また、猪高緑地や牧野ヶ池緑地などには広い自然がそのまま残され、多くの市民の皆様の憩いの場として親しまれております。今後とも、豊かな自然との調和を図りながら、名古屋市の東の玄関にふさわしい魅力と活力あふれるまちとして、さらに発展することが期待されているところでございます。

記念すべき20周年を節目として、21世紀を見すえた新しい、個性ある名東区を区民の皆様とともに築いてまいる所存でございます。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、名東区の一層の発展を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



発刊によせて

名東区長 競 和巳

私たちのまち名東区は、昭和50年2月に名古屋市の15番目の区として千種区より分区独立して誕生し、本年で20年を迎えることになりました。また、名東区の前身である愛知郡猪高村が名古屋市に合併されてから、40年の月日が経過いたしました。

かつては、緑豊かな丘陵地と多くのため池が点在するのどかな田園地帯でありましたが、大規模な土地区画整理事業と地下鉄の開通により、静かな環境に恵まれた市内屈指のベッドタウン「ふれあいと緑のまち」として発展を遂げてまいりました。これもひとえに、区民の皆様ならびに郷土の先人の英知と努力の賜と存じ上げ、深く感謝いたしております。

最近では、東名高速道路と東名阪自動車道が名古屋インターで直結し、一般国道302号線も名東区内を南北に縦断して守山区・天白区と貫通するなど、名古屋の東玄関にふさわしい区として発展を続けています。また、かねてより待望のスポーツセンター・文化小劇場の建設が着手され、さらに、全学区に一館の設置を目指したコミュニティセンターの建設も着々と行われるなど、来たるべき21世紀への基盤づくりが着々と進んでおり、なお一層の発展が期待されています。

このたび、区制施行20周年という節目にあたり、区民の皆様のご尽力により、「区制20周年記念事業実行委員会」が設置され、「文化薫る思いやりのまち」をテーマに各種記念文化事業が進められる中で、本記念誌が発刊されましたことは、誠に喜びにたえないところです。区の歴史、区勢の実情をご理解いただく資料として、本誌が広く利用されます事を祈念いたしております。

最後になりましたが、本誌の発刊にあたりご尽力いただきました皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後とも名東区の発展のため区民の皆様を始め関係各位の一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、私のごあいさつとさせていただきます。



区制20周年にあたって

名東区各種団体連絡協議会

会 長 近藤 時義

名東区開設20周年を区民の皆様と共に心からお祝い申し上げます。開設当時は人口8万人余り、丘陵地を次々に切り開いて区画整理事業の真ただ中でしたが、20年の間に人口は15万2千余人と2倍近くに伸び、市内屈指のベッドタウンに発展いたしました。

人口が急激に増加し、また、市内で一番住民の転出入が激しい、新しい住民の多い区ですので、旧くからの住民との連帯感やふるさと意識の醸成が常に課題となっております。そこで、学区の各種団体のメンバーが力を合わせ、夏の盆踊りや運動会、敬老会、成人式などを、毎年工夫を凝らして盛大に実施しております。幸い、どの行事も多数の参加者に恵まれ喜ばれておりまして、とりわけスポーツやレクリエーションは活発で、地域の親睦に大きく貢献しているものと自負しているところでございます。

名東区は若々しく美しい街です。地上を走るユニークな地下鉄と東名高速・東名阪自動車道が都市の動脈を形成し、イキでファッショナブルな藤が丘や自然の緑が目まぶしい猪高緑地、周囲3キロにわたる景勝地・牧野ヶ池など、都会と自然が絶妙のバランスでマッチした暮らしやすい住宅地です。

かねて念願の文化小劇場やスポーツセンターもいよいよ建設が始まります。私どもが元気に集い、コミュニティ活動や、文化、スポーツ活動に取り組む生活環境がますます整ってまいったわけです。来るべき21世紀を目前に控え、名東区のこの素晴らしい環境を守り、育てるため、区民の皆様始め関係の皆様方のご理解とご協力をお願いするとともに、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。